

ビジネスサイト制作で学ぶ

WordPress

「テーマカスタマイズ」 徹底攻略

北村 崇、星野 邦敏 [著]

プロが教える
WordPressステップアップ・テクニック

「デザインの徹底カスタマイズ」

「プラグインの活用」

「Windows AzureやAWSの活用」

……など、プロになるための

「二歩踏み込んだ」テクを手に入れる!

WordPress
3.8
対応!


マイナビ

ビジネスサイト制作で学ぶ

WordPress 「テーマカスタマイズ」 徹底攻略

北村 崇、星野 邦敏 [著]

本書のサポートサイト

- 本書で解説しているサンプルサイトのデータや、補足情報を掲載してあります。適宜ご参照ください。

<http://book.mynavi.jp/support/pc/4568/>

- 本書はWordPress 3.8の環境で解説しています。WordPressのバージョンの変更により、画面や操作、機能が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

- 本書は2014年1月段階での情報に基づいて執筆されています。本書に登場するソフトウェアのバージョン、サービスの内容、URL、製品のスペックなどの情報は、すべてその原稿執筆時点でのものです。執筆以降に変更されている可能性がありますので、ご了承ください。

- 本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としております。したがって、本書を用いての運用はすべてお客様自身の責任と判断において行ってください。

- 本書の制作にあたっては正確な記述につとめましたが、著者や出版社のいずれも、本書の内容に関してなんらかの保証をするものではなく、内容に関するいかなる運用結果についてもいっさいの責任を負いません。あらかじめご了承ください。

- 本書中の会社名や商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。本書中ではTMおよびRマークは省略させていただいております。

はじめに

2003年に初代WordPressがリリースされてから、今年で11年が経とうとしています。

公式テーマはすでに2,000を超え、プラグインも28,000を超えるほど巨大なオープンソースとなりました。

世界各国でユーザーが増えると同時に、日本でも企業、団体、官公庁から個人ブログまで、ありとあらゆる場面でWordPressは利用されており、世界トップ100サイトの内、実に半数以上がWordPressという時代です。この数字は今後ますます増えていくことが予想されます。

そんな中、今まではエンジニアの分野であったCMS構築も、Web制作者の一般的な知識として需要が高まり、今後はデザイナーが行う機会も増えていくことでしょう。

本書では、「HTMLやCSSといった静的サイトは経験があるが、WordPressやPHPは未経験」という方や、「WordPressについて関心があり、今後本格的なカスタマイズを覚えていきたい」という方の最初の一冊となるよう、CMSとして基本的な機能の実装方法と解説を中心に、少し実用的なカスタマイズやプラグイン、SNS連携やSEOといった実践テクニックまで、できるだけ易しい言葉と解説で案内しています。

いうまでもなく、PHPは基礎だけでは本格的なカスタマイズは行えません。しかしまずは最初のステップとして、自分で作ってみることが何よりも大事だと思います。

一つずつ手探りであっても構いません。本書が皆様のステップアップをするお手伝いになればと思っています。

最後に、Automattic社をはじめ、WordPressコミュニティの皆様、また執筆という貴重な機会を頂きました編集の皆様、ご協力いただいた全ての方々に深く感謝すると同時に、本書が皆様のお役に立ち、本書を通して更に多くの方々がWordPressというオープンソースに参加していただき、より大きく発展していくことを心より願っております。

2014年1月 執筆者代表 北村 崇

Chapter 01 導入編 011

WordPressについて	012
● WordPressとは	012
● 必要な環境	013
● インストール方法	013
本書におけるWordPressテーマのコンセプトと設計	016
● WordPressテーマについて	016
● サイト構成	018
● 作成するファイルと使用する機能	019
本書で使用するオリジナルテーマの作成について	020
● オリジナルテーマについて	020
● HTMLやCSSを用意する	021
● 本書で紹介する解説の流れ	021
サンプルテーマの使用方法	022
● サンプルテーマの実装方法	022
● テーマテンプレートを適用する	022
● カスタムメニューを設定する	024
● カスタム投稿タイプを利用する	025

Chapter 02 テーマの基本 033

テーマの構成とファイルの種類	034
● テーマファイルとは	034
● ファイルの役割	035
● ページ(テンプレート)を分割してみる	037
必須のindex.phpとstyle.css	041
● 仮テーマを作ってみる	041
● index.php作成方法	043
● screenshot.pngを用意する	045

Chapter 03 基礎の構築 047

テンプレートファイルの作成とテンプレートタグの使い方	048
● テンプレートタグを利用し、様々な要素を読み込む	048
● テンプレートタグを使ってみる	049
footer.phpとsidebar.php	054
● sidebar.phpを作成する	054
● footer.phpを作成する	056
functions.php	059
● functions.phpを作成する	059
● functions.phpの使い方	059
トップページのテンプレート	061
● トップページのテンプレートについて	061
● front-page.phpを作成する	062
固定ページテンプレート	063
● page.phpを作成する	063
● 固定ページによってテンプレートを変更する	065
投稿ページ	067
● 「投稿」用のテンプレート	067
● 投稿日時とカテゴリー、コメント欄を設置する	068
● single.phpを使い分ける	070
● カテゴリー毎にテンプレートを変更する	071
検索機能と検索結果ページ	073
● searchボックスを設置	073
アーカイブページ	078
● archive.phpを作成する	078
コメントテンプレート	080
● comments.phpを作成する	080
● コメント表示のカスタマイズ	081
● コメントフォームのカスタマイズ	083
404ページ	085
● 404.phpを作成する	085

Chapter 04 カスタマイズ 087

JavaScriptやjQueryの読み込み	088
● JavaScriptを読み込む方法	088
カスタムヘッダー	091
● カスタムヘッダーを設定する	091
カスタムメニュー	100
● カスタムメニューを有効化する	100
● 複数のカスタムメニューの登録	101
● カスタムメニューを設置する	103
● カスタムメニューの登録	105
● 現在地メニューのハイライト	107
ウィジェットの作成	108
● ウィジェットの作成	108
固定ページをフリースペースとして読み込ませる	112
● 固定ページ「フリースペース」を用意する	112
● 固定ページ (freespace) を読み込ませる	115
● スラッグ以外のページの読み込み	116
● パーマリンクがデフォルトの場合	116
● パーマリンクを変更している場合	117
● プラグインで確認する場合	118
● ページを検索や一覧に載せないようにする	119
新着記事のアイキャッチと抜粋を表示する	120
● アイキャッチと抜粋で新着記事一覧を作成する	120
● 読み込ませるためのテスト記事を投稿する	120
● 記事抜粋の表示とカスタマイズ	123
● ページャーの設置	124
アイキャッチの使い方	126
● アイキャッチを有効化する	126
● アイキャッチを設定する	127
● アイキャッチの表示	127
固定ページの子ページ一覧をリスト表示する	129
● 固定ページの子ページ一覧をリスト表示する	129
カスタムフィールドの設定	131
● カスタムフィールドとは	131
● カスタムフィールドの使い方	133
カスタム投稿の設定	136

	● カスタム投稿タイプとカスタム分類	136
	● カスタム投稿タイプを設定する	138
	● カスタム投稿タイプのテンプレートファイル	139
ソーシャルボタンの設置		145
	● ソーシャルボタンの設置	145
	● FacebookとTwitterのボタン設置	145
	● Facebookウィジェット (like box) の設置	147
モバイルとPCで表示を切り替える		149
	● モバイル用のタグ	149
カスタマイザーとカスタム背景の設定		151
	● カスタマイザーの設置	151
	● オリジナルの項目を追加する	154
様々なカテゴリーの表示方法		155
	● カテゴリーを使いわけよう	155
	● 現在の記事が属するカテゴリーを表示する	155
	● 特定のカテゴリーの記事一覧	156
テンプレートファイルの細分化		161
	● 管理するファイルを細分化する	161
	● 元のコードを確認し分割する	161
	● get_template_partでの読み込み	162
	● ページ毎に読み込むファイルを条件分岐する	164
カスタムフィールドを使った日付の入力と出力のカスタマイズ		165
	● カスタムフィールドにおける日付入力	165
	● カスタムフィールドに日付を入力する	165
	● 日付のデータをカスタマイズする	167
	● 日付のデータを出力する	167
投稿画面のエディタにデザインを反映させる		169
	● 投稿のビジュアルエディタにデザインを適用する	169
	● editor-style.cssを作成する	169
	● オリジナルスタイルを有効化する	170

Chapter 05 PHPについて 171

PHPとは		172
	● WordPressのために必要なPHPの知識	172
	● PHPについて	172

Contents

	● 動的に表示する	172
	● PHPの動作環境	174
	● WordPressを動かすために必要なPHPのバージョン	174
	● PHP の記述方法	174
変数		176
	● 変数とは	176
	● WordPressでよく使われる変数	177
配列		178
	● 配列とは	178
	● WordPressでよく使われる配列	180
条件分岐		181
	● 条件分岐とは	181
	● 色々な条件分岐	181
	● WordPressでよく使うif文の記述方法	182
	● 条件分岐タグ	183
ループ		185
	● while ループの仕組み	185
	● WordPressループ	186
	● ループ内で記述する要素	187
	● 投稿の日付を表示する	188
	● 記事のタイトルを表示	189
	● 投稿記事本文を表示	189
	● 覚えておくと便利なループ foreach	190
関数		192
	● 関数とは	192
	● 関数の作成	193
	● WordPressの独自関数	194

Chapter 06 プラグイン 197

Contact Form 7		198
	● Contact Form 7とは	198
	● インストールと設定画面表示	199
	● お問い合わせフォームの作成	199
	● フォームで表示されるメッセージの設定	205

wp total hacks	207
● wp total hacksとは	207
● インストールと設定画面表示	208
Akismet	213
● Akismetとは	213
● インストールと設定画面表示	213
WP Social Bookmarking Light	218
● WP Social Bookmarking Lightとは	218
● インストールと設定画面表示	218
● ボタンの表示設定	219
● SNSごとの詳細設定	220
Simple Map	223
● Simple Mapとは	223
● インストールと設定画面表示	223
● 挿入する地図のショートコードタグを書く	223
● ショートコードタグの書き方、地図表示方法	224
● 地図を画像として表示	227
Easy FancyBox	228
● Easy FancyBoxとは	228
● インストールと設定画面表示	229
● 画像を表示してみよう	229
Easing Slider “Lite”	230
● Easing Slider “Lite”とは	230
● インストールと設定画面表示	231
● Customize	233
● 設定したスライドを表示する	234
WP SiteManager	236
● WP SiteManagerとは	236
● インストールと設定画面表示	236
● SEO&SMO	236
● サイト構成	238
● マルチデバイス	239
● キャッシュ	240
● サブナビの設定	240
● パンくずナビ、ページャーの設定	241
Jetpack by WordPress.com	243
● Jetpack by WordPress.comとは	243
● インストールと設定画面表示	243

● WordPress.comと連携する	244
● 代表的な機能紹介	244
● Jetpackを使用する際の注意	252

Chapter 07 APPENDIX 253

Windows AzureにWordPressを構築する	254
● Windows Azure上にWordPressを構築する意味	254
● Windows Azureの準備	254
● Webサイトを構築	257
● サイトの初期設定とWordPressのアップロード	259
● WordPressのインストールと初期設定	263
● ドメイン管理	267
● MySQLの容量アップを行う	269
AWSにWordPressを構築する	273
● AWS (Amazon Web Service)とは?	273
● AWS の準備	274
● Web サイトを構築	277
● WordPress のインストールと初期設定	285
サーバー・データベースの引っ越し	286
● サイトデータのダウンロード・アップロード	286
● データベースのエクスポート・インポート	287
● データベースの書き換え	289
SNS連携	294
● OGP	294
● Twitter Cards	298
● ソーシャルアイコン	300
デバッグモードについて	303
ユーザー権限	304

Chapter 01

導入編

- WordPressについて
- 本書におけるWordPressテーマのコンセプトと設計
- オリジナルテーマの作成について
- サンプルテーマの使用方法

Section 01

WordPressについて

WordPressとは

WordPressはPHPとMySQLをベースに作られたCMS（content management system）と呼ばれるブログのシステムです。

テキスト編集画面で画像やテキストを変更し、更新ボタンを押すだけで更新できる。ごく一般的な普段皆さんが使っているブログと同じものです。

通常Webサイトを制作したり、ページの追加や削除などの変更がある場合はHTMLやCSSへの理解が必須となりますが、WordPress（CMS）をうまく利用することで、コーポレートサイトなどの**ブログタイプ以外のサイト**も、テキスト入力や画像の選択ができれば「誰でも更新できるサイト」として構築することが可能になります。

またCMSには有償・無償様々なものがありますが、WordPressはGPL（GNU General Public License）というライセンスに基づき配布されているオープンソースソフトウェアです。

GPLとは、簡単にいうと「このシステムをベースに作ったもの、付加したデータなどの再配布や改変を許可している」ライセンスで、WordPressはそのGPLに基づき、個人利用・商用を問わずに無料配布されています。



図 2-01 WordPress日本語サイト (<http://ja.wordpress.org/>)

必要な環境

WordPressは2014年2月現在、最新バージョンが3.8.1となりますが、WordPress自体はPHPやMySQLを利用して動いているため、最低限必要な環境があります。

現行のWordPressを動かすためには次の環境が必要となります。

WordPress 日本語版バージョン 3.8.1 の動作環境：

- ・ PHPバージョン5.2.4 以上
- ・ MySQL バージョン 5.0 以上

これらはサーバーにより異なるため、サーバー契約の前に必ず確認してください。

バージョンの古いサーバーの場合、最新版を動かすことはできません。

またサーバーによってはワンクリックインストールなど、簡単にWordPressをインストールできる所も多く存在しています。

各サーバーの仕様を確認して、最適なところを選んでください。

インストール方法

サーバーにワンクリックインストールがある場合はそのサーバーマニュアルの手順に従えば数クリック程度でインストールは完了します。

ただ、カスタマイズやオリジナルテーマ作成を前提としているのであれば、FTPなどのファイルアップロードのできる環境を用意し、通常の手順でのインストールはできるようにしておきましょう。

WordPressは他のCMSに比べても非常に簡単にインストールができますので、サーバーの知識が浅い方でも比較的容易にインストールすることができます。

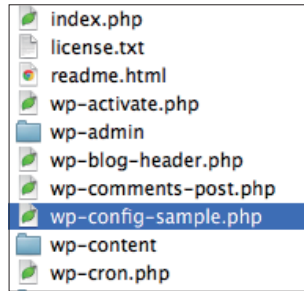
インストール方法は次の通りです。

- 1 最新版の日本語化されているWordPressを次からダウンロード・解凍します。

```
http://ja.wordpress.org/
```

- 2 サーバー上にWordPress用のデータベースと、アクセス権・編集権を持つMySQLユーザを作成します。データベースの作成方法は各サーバーマニュアルに従って行ってください。

3 wp-config-sample.phpをコピーまたは編集して、wp-config.phpというファイルを作成します。



4 エディタソフトを利用してwp-config.php内の編集記事の説明に従い、データベース情報やパスワード情報を修正します。

```

php

<?php
/**
 * The base configurations of the WordPress.
 *
 * This file has the following configurations: MySQL settings, Table Prefix,
 * Secret Keys, WordPress Language, and ABSPATH. You can find more
 * information
 * by visiting {@link http://codex.wordpress.org/Editing_wp-config.php
 * Editing
 * wp-config.php} Codex page. You can get the MySQL settings from your web
 * host.
 *
 * This file is used by the wp-config.php creation script during the
 * installation. You don't have to use the web site, you can just copy this
 * file
 * to "wp-config.php" and fill in the values.
 *
 * @package WordPress
 */

// ** MySQL settings - You can get this info from your web host ** //
/** The name of the database for WordPress */
define('DB_NAME', 'database_name_here'); ←データベース名

/** MySQL database username */
define('DB_USER', 'username_here'); ←ユーザーネーム

/** MySQL database password */
define('DB_PASSWORD', 'password_here'); ←パスワード

/** MySQL hostname */
define('DB_HOST', 'localhost');

/** Database Charset to use in creating database tables. */
define('DB_CHARSET', 'utf8');

/** The Database Collate type. Don't change this if in doubt. */
define('DB_COLLATE', '');

```

- 5 FTPなどのファイルアップロードソフトを利用し、サーバー上の希望の場所に、WordPressファイルをアップロードします。
この際、メインルート (例: `http://example.com/`) にWordPressを設置するのであれば「WordPressフォルダの中身を丸ごと」アップロードし、サブディレクトリ (例: `http://example.com/sub/`) に設置するのであればWordPressのフォルダごとアップロードします。フォルダごとアップロードする場合のフォルダ名 (ディレクトリ名) は好きな名前に変更しても問題ありません。
- 6 ブラウザからアップロードしたディレクトリへのルート+`wp-admin/install.php` (例: `http://example.com/wp-admin/install.php`) へアクセスし、インストールを実行します。

WordPress

ようこそ

5分できる WordPress の有名なインストールプロセスへようこそ！ [ReadMe](#) はお暇なときにでもお読みください。下記にいくつか情報を入力して、世界で最も拡張的で強力なパーソナルパブリッシングプラットフォームを使用するための準備を始めましょう。

必要情報

次の情報を入力してください。ご心配なく、これらの情報は後からいつでも変更できます。

サイトのタイトル

ユーザー名
ユーザー名には、半角英数字、スペース、下線、ハイフン、ピリオド、アットマーク (@) が使用できます。

パスワード、2 回入力してください
ここを空欄にすると自動的にパスワードを生成します。

強度インジケータ

ヒント: パスワードは7文字以上にしてください。より強力にするには、大文字と小文字のアルファベット、数字や ! ' ? \$ % ^ &) などの記号を組み合わせて使ってください。

メールアドレス
次に進む前にメールアドレスをもう一度確認してください。

プライバシー ☒ 検索エンジンによるサイトのインデックスを許可する。

WordPress をインストール

Section 02

本書におけるWordPressテーマのコンセプトと設計

本書で紹介するWordPressテーマについて

本書でサンプルとして用意されているテーマは、BARをイメージしたレスポンシブデザインのサイトです。ページ構成上BARのサイトとして作成していますが、各項目の設定さえ変更すれば、コーポレートサイトとして応用できるように設計されています。

またカスタマイザーやカスタムヘッダーを利用し、テーマ全体のカラー変更なども行える汎用性の高いものとして作成しています(図1-01、図1-02)。



図1-01 PC表示

本書で使用するサイトの構成

サンプルサイトは「飲食店（ライブBAR）」の店舗をイメージした構成で作成しています。

実店舗にご協力いただきながら、トップページ以外に必要な項目として「ドリンクやフード、ランチのメニューや一覧」、「お店のイベントの紹介」、「お問い合わせ」、「店舗案内」など、実際に必要性の高いものを、WordPressの機能を使いながら構築しています。

このように、WordPressではまず更新作業の少ないもの、つまり「会社概要」や「お問い合わせ」、「サイトマップ」、ブログでいえば「プロフィール」などを固定ページとして作成し、更新やページの追加が多いもの、「ニュース・新着情報」や「商品個別記事」などをブログでいうところの投稿として作成するのが一般的です。

どのページをどの機能で処理するかは、WordPressの基本機能を理解した上で行き、上手にサイト設計をしましょう。

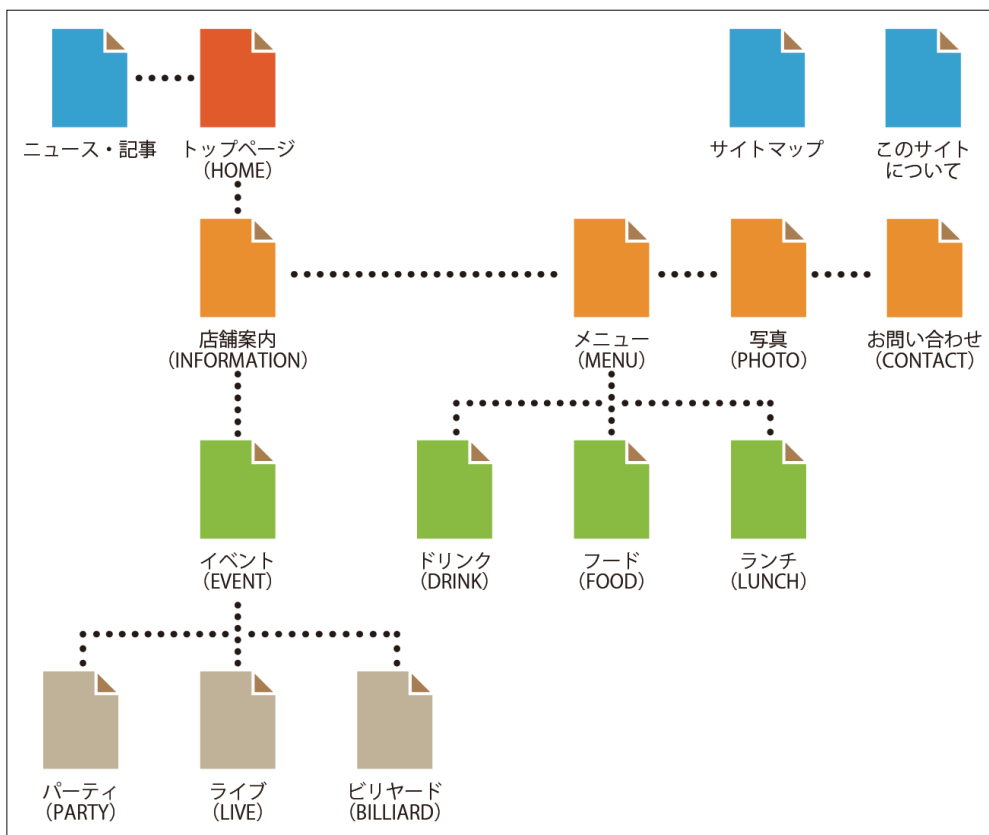


図 1-04 サンプルサイトの相関図

本書で作成するファイルと使用する機能

使用するテンプレートファイルや機能について、どこへ何を割り当てていくかを表にしておくと、とてもわかりやすくなります。

制作前にまず一覧を作成し、それぞれの構成を見直してみましょう。

特に更新頻度の高い部分に何を持ってくるかで、カスタマイズに大きく影響が出ます。

受注制作であればなおのこと、更新を担当する人がどの程度の知識を有するか、作業する工程・管理体制を考慮した上で検討すると良いでしょう。

ページ	機能
404.php	404 ページ
comments.php	コメント用テンプレート
editor-style.css	ページ・記事編集画面のビジュアルエディターデザイン用スタイルシート
archive-menu.php	カスタム投稿タイプ (MENU) 用アーカイブテンプレート メニュー (MENU) の一覧表示に使用
archive.php	アーカイブテンプレート
footer.php	フッターテンプレート
front-page.php	トップページ (HOME) テンプレート
functions.php	関数ファイル
header.php	ヘッダーテンプレート
index.php	各ファイルが存在しない場合の補完をしてくれる基本テンプレート ※必須
page.php	固定ページテンプレート イベント (EVENT)、パーティ (PARTY)、ライブ (LIVE)、ビリヤード (BILLIARD)、サイトマップ、このサイトについて、写真 (PHOTO)、お問い合わせ (CONTACT) に使用
page2.php	INFORMATION 用固定ページテンプレート 店舗案内 (INFORMATION) に使用
screenshot.png	テーマのスクリーンショット ※テーマ選択時に表示される
search.php	検索結果ページテンプレート
searchform.php	検索フォームテンプレート
sidebar.php	サイドバーテンプレート
single-menu.php	カスタム投稿タイプ (MENU) 用投稿テンプレート ドリンク (DRINK)、フード (FOOD) の個別記事に使用
single.php	投稿テンプレート ニュース記事に使用
style.css	スタイルシート ※必須
taxonomy-menu_cat.php	カスタム投稿タイプ (MENU) のタクソノミー (menu_cat) 用テンプレート ドリンク (DRINK)、フード (FOOD) の一覧ページに使用

WordPress の追加機能

ページ	機能
カスタムメニュー	カスタムメニュー 外観＞メニューで編集できるメニュー
カスタムヘッダー	カスタムヘッダー 外観＞ヘッダーで編集できるヘッダー機能
カスタム背景	外観＞背景で編集できる背景画像
ウィジェット	外観＞ウィジェットで編集できる追加機能をブロック毎に編集できる
アイキャッチ	ページ・記事編集画面で設定できるサムネイル設定機能
カスタム投稿ポスト	通常の投稿以外に独自の投稿項目を追加できる
カスタムフィールド	各ページ・記事毎に独自のデータを持たせることができる
テーマカスタマイザー	独自項目を追加することもできるテーマの編集機能

Section 03

本書で使用するオリジナルテーマの作成について

オリジナルテーマについて

WordPressではテンプレートをテーマ (Theme) と呼びます。

テーマは公式ディレクトリで登録されているだけでも2,000種以上 (2014年2月現在) が登録されており、非公式も含めるとその数は軽く数万以上はあるのではないかと思います。

これだけのテーマが存在すれば、欲しいデザイン、欲しい機能を持ったテーマも存在するかもしれませんが、機能面・デザイン面双方にこだわる場合は、既存のテーマの中から探すのは難しいのではないのでしょうか。

本書では、最終的には自分の欲しい機能を実装したオリジナルテーマを制作できるように、サンプルサイトを制作することでWordPressの機能の拡張方法や設計の仕方などを学んでいただこうと思います。

オリジナルテーマを作成する場合、その方法は大きく2種類あります。

まず一つは、TwentyTwelveなどの既存テーマの一部を上書きしてカスタマイズし**子テーマ**として作成する方法です。

一見すると、元になるサイトが途中までできているので、その中の一部をカスタムすれば済むと考えられますが、TwentyTwelveなどのブログテーマを子テーマ化する場合、その構造を理解した上でのカスタマイズとなり、相應の知識が必要となります。

これは初心者にはかなりハードルの高い作業となりますので、WordPressを理解できていない状態で子テーマでのカスタマイズをするのは、かなり難しいと思われます。

もう一つの方法は、独自のHTMLやCSSをベースとして作成し、そこからWordPressのPHP関数などを当てはめ**完全オリジナルテーマ**として作成する方法です。

どちらの方法で制作するかは、制作者の好みやコスト、時間の関係などもありますが、WordPressのカスタマイズを初めて行う場合は、後者の方が、WordPressへの理解を深める面でも初心者向きといえるでしょう。

そこで本書では比較的作成のしやすい**HTMLやCSS、jQueryをベースに、WordPressテーマ化する方法**を、事前に用意してあるサンプルサイトを使い手順を追って解説していきます。

何がどのような動きをしているのかを理解していくには、こちらのオリジナルテーマを作成する手順の方が理解がしやすいと思います。

HTMLやCSSを用意する

まず基本となるデータを用意します。

ソースコードはごく一般的なHTML、CSSであれば問題ありません。jQueryなどのJavaScriptやFlashなど、通常Webサイトとして使用できるものであれば大丈夫です。

ただし、コーディングの段階ではできる限りWordPressを意識した形で組むことが必要となります。

というのも、CMSなどのコンテンツが流動的なサイトにおいて、文字数や画像のサイズなどは固定でない場合が多く、内容や状況に応じて常に変動するという考えがあります。

それらを考慮せずにCSSが固定値で表記されていたり、画像サイズ指定を怠ったりしますと、サイト全体のレイアウトを崩すことにもなりかねません。

オリジナルのソースコードを作成する場合は、「どのコンテンツが変動する可能性があるのか」、「どこまでレイアウトへの影響が考えられるか」を考慮し、汎用性の高いコーディングを心がけましょう。

本書ではサンプルサイトとしてデータを用意しています。

本書で紹介する解説の流れ

本書は計7章で構成されており、その中でChapter02からChapter04までがサンプルデザインからテーマ(Theme)を作成していく流れになっており、その作業の解説からテーマの基本的な構造からカスタマイズまでを解説しています。

また、Chapter05からChapter07までは、WordPress、またはテーマを利用する上で必須となる技術情報、プラグイン解説などになっています。

具体的な内容は次の通りです。

Chapter01: WordPressの概要、インストール、本書で解説するテーマの概要

Chapter02: テーマの説明と基本となるindex.php、style.cssの作成

Chapter03: テーマの基本構造の解説と構築、そしてページの作成

Chapter04: Chapter02で作成したテーマのカスタマイズ

Chapter05: WordPressを使う上で必須となるPHPの解説など

Chapter06: 使用頻度の高いプラグインの解説(Contact Form 7、wp total hacks、WP Social Bookmarking Light、Jetpack by WordPress.comなど)

Chapter07: Windows Azureへのインストール、AWSへのインストール、サーバーデータベースの引越、SNS連携など

Section 04

サンプルテーマの使用方法

■ サンプルテーマの実装方法

この書籍のサンプルテーマは、テキストカラーやロゴ画像、背景などを変更できるようにカスタマイザーを設定しています。

<http://book.mynavi.jp/support/pc/4568/>より、サンプルテーマをダウンロードし、解凍して使用しましょう。

■ テーマテンプレートを適用する

データを解凍すると、「samplesite」内に次のファイルが入っています。

```

samplesite
404.php
comments.php
editor-style.css
archive-menu.php
archive.php
cssフォルダ
└─ genericons.css
   editor-style.css
   footer.php
   front-page.php
   functions.php
   header.php
imagesフォルダ
└─ 404.png
   back.png
   body_bg.png
   footer.png
   header.png
   icon_f.png
   icon_t.png
   img_bg.png
   logo.png
   nav_back_sp.png
   nav_back.png
   nav_bg.png
   noimage.png
   search_button.png
index.php
jsフォルダ
└─ html5shiv.js
   jquery.accordion.js
   jquery.scroll.js
   jquery.scrollUp.js
   page.php
   page2.php
sampleフォルダ
└─ 1.png
   2.png
   3.png
   screenshot.png
   search.php
   searchform.php
   sidebar.php
   single-menu.php
   single.php
   style.css
   taxonomy-menu_cat.php

```

これらをアップロードする先はWordPressのある場所/wp-content/themesの中です。フォルダごと入れてください。

アップロード後、管理画面「外観」>「テーマ」でテーマを選択できます。

「sample site」を有効化してテーマを差し替えましょう(図4-01、図4-02)。

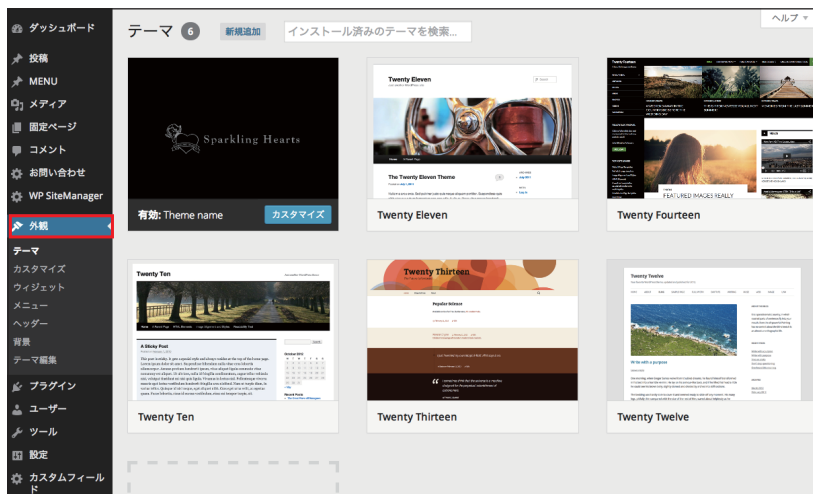


図4-01 テーマを有効化した状態

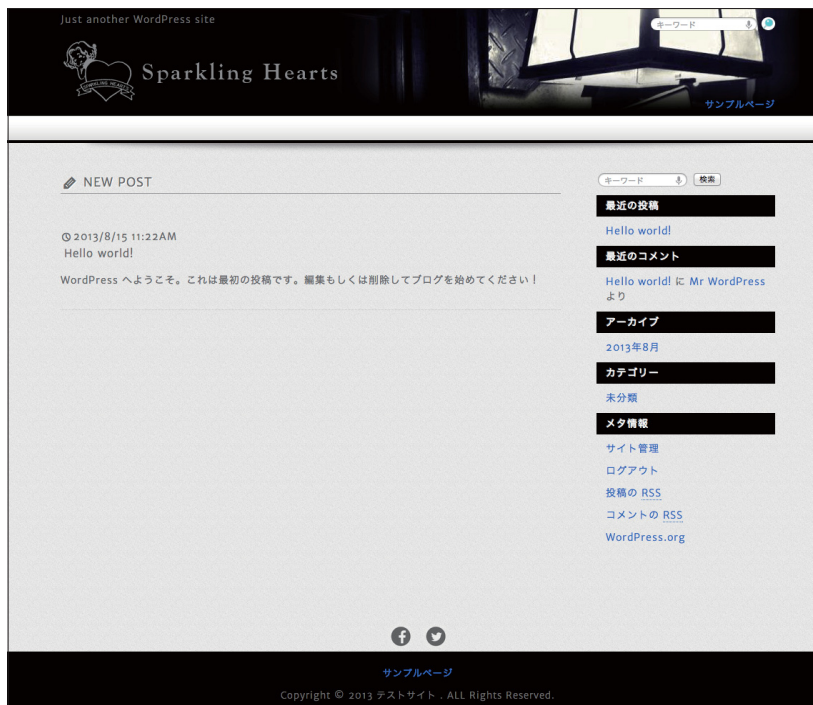


図4-02 テーマを有効化した状態

カスタムメニューを設定する

サンプルテーマのナビゲーションはカスタムメニュー用に作ってあります。メインのグローバルナビゲーションもメニューを設定することで表示されますので、まずはメニューを設定してください(図4-03)。

「外観」>「メニュー」から「メニューの編集」で好きなページやカテゴリを登録し「位置の管理」で「Top Menu」、「Global Menu」、「Footer Menu」をそれぞれ指定してください。

変更ができていれば表側のメニューに全て反映しています。



図4-03 位置の管理

サンプルサイトのグローバルメニューは「親>子>孫」までリスト表示ができます(図4-04)。



図4-04 グローバルメニューの表示

スマホ用のメニューはアコーディオン型で、「MENU」をタップまたはクリックすることで開閉し、こちらも「親>子>孫」までを表示します(図4-05)。

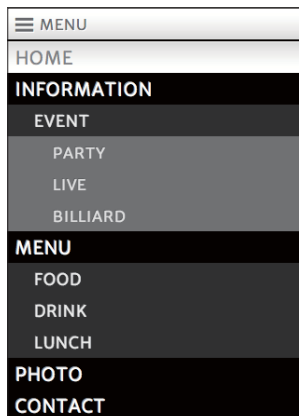


図4-05 スマホ用メニュー表示

カスタム投稿タイプを利用する

サンプルでは飲み物や食べ物の「メニュー」として使用しています。

サンプルサイトではテーマに記述してありますので、管理画面左のナビゲーションに「MENU」という独自の項目が出ています(図4-06)。



図4-06 カスタム投稿タイプ

このカスタム投稿はいくつか設定がしてあります。

》 カスタム投稿の記事ページ

通常の投稿で使用するテンプレート (single.php) ではなく、特定のカスタム投稿の記事専用のテンプレートを作成します。

サンプルでは

```
http://ドメイン/menu/記事ページ
```

を開いた際に表示されるページです。

このテンプレートがない場合は、通常のsingle.phpを使用して表示されます。(図4-07)



図4-07 タイトルと本文以外にも、「料金:フィールド名"yen"」を表示

》 カスタム投稿のアーカイブページ

カスタム投稿 (表示名: MENU) のアーカイブページ、つまりサンプルでは

```
http://ドメイン/menu/
```

を開いた時に表示するページです。

カスタム投稿 (表示名: MENU) に設定したタクソノミー (表示名: Category) に設定したカテゴリーを、そのカテゴリー毎に「カテゴリーの名前」、「タイトル」そしてカスタムフィールドで設定した「料金:フィールド名"yen"」を表示します (図4-08)。

>HOME > MENU		
DRINK		
飲み物11	飲み物10	
	500YEN	500YEN
飲み物9	飲み物8	
	600YEN	600YEN
飲み物7	飲み物6	
	800YEN	1,500YEN
飲み物5	飲み物4	
	500YEN	600YEN
飲み物3	飲み物2	
	500YEN	550YEN
飲み物1		
	600YEN	
FOOD		
食べ物2	食べ物1	
	1,300YEN	1,000YEN
LUNCH		
シチュー&サラダバー		

図4-08 カスタム投稿のアーカイブページ

》 カスタム投稿のタクソノミーアーカイブページ

カスタム投稿（表示名:MENU）のタクソノミー（表示名:Category）に設定したカテゴリごとのアーカイブページ、つまりサンプルでは

```
http://ドメイン/menu_cat/カテゴリスラッグ
```

例としてはhttp://ドメイン/menu_cat/drink/を開いたページになります。

カテゴリスラッグとは各カテゴリに設定した「スラッグ"slug"」の項目で、カスタム投稿（MENU）のカテゴリ（Category）の編集画面で確認できます。

カテゴリごとに「Category+（カテゴリの名前）」と、「アイキャッチ」、「タイトル」、「料金：フィールド名"yen"」を表示します（図4-09）。



図4-09 カスタムタクソノミー毎に記事を一覧で表示

≫ 固定ページの表示1

通常の固定ページ (page.php) では、「タイトル」、「本文」に加え「子ページ」が下部に一覧で表示されます。子ページのルールは、管理画面の「固定ページ一覧」から各固定ページの編集で設定できる親子関係で設定されたものに基づきます (図4-10、図4-11)。



図4-10 固定ページテンプレートには子ページも表示

☐ EVENT

adminad min 2013年5月10日 公開済み

ID:65 | 編集 | クイック編集 | ゴミ箱 | 表示

クイック編集

タイトル 親

スラッグ 順序

日時 2013 年 05 月 10 日 @ 21 : 40 テンプレート

パスワード -または- ☐ 非公開 ☒ コメントを許可

ステータス

図4-11 固定ページのクイック編集画面

》 固定ページの表示2

会社概要 (INFORMATION) などに使う固定ページテンプレート (page2.php) では、住所や電話、メールなどのカスタムフィールドと、本文を出力します (図4-12)。

カスタムフィールドの詳細はChapter04-09「カスタムフィールドの設定」を確認してください。



図4-12 カスタムフィールドを設定した固定ページテンプレート

3.1
2017

1

2

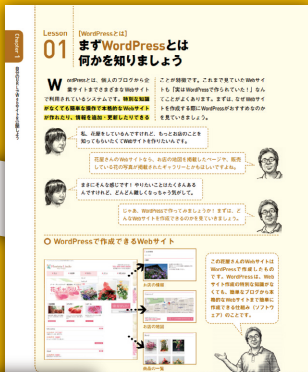
「Webクリエイティブ・マーケティング」

デザイン性・機能性に優れた
Webサイトが作れるようになる!

人気のWordPress入門書 第2版です。前回の書籍と同様、セミナー経験の豊富な著者陣が、実践的なノウハウを織り交ぜつつ丁寧に解説しています。WordPressの最新バージョンに対応した手順をすべて画面付きで解説しているので、Webサイトをはじめて作る人でも安心して読み進められます。HTML、CSS、PHPなどの知識がなくても、パソコン・スマートフォン両方の表示に対応した本格的なWebサイトを作れることでしょう。

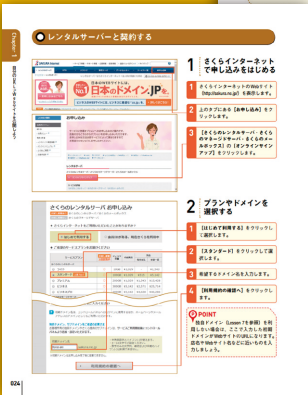
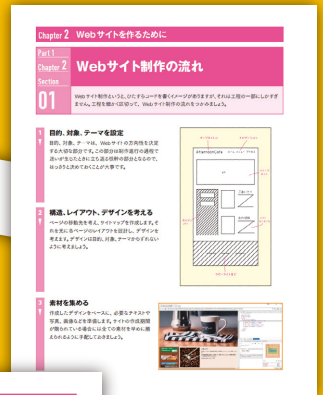
仕事できちんとWebを扱えるように
になりたい人のための新・定番書

そもそもWebサイトって何? というあなたでも、インターネットの基礎からHTMLとCSSの基本や使いこなしを学び、総まとめとしてシンプルなコーポレートサイトを制作できます。環境構築もていねいに説明しました。Web関連の企業に内定が決まった学生や、Web関係の部署に異動になった社会人など、必要に迫られて一通りきちんと学びたい人のための新・定番書です。ダウンロードできるサンプルデータで実際に作りながら学べます。

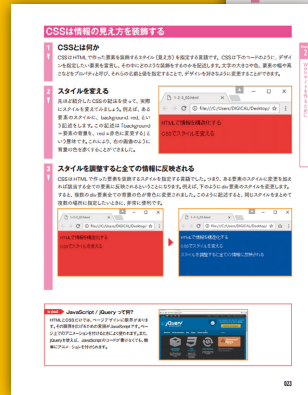


実際のセミナーや講義を
元にしたやりとりによって、
理解を深められる

ここで学ぶことは何なのか、
どのような用途があるのかを
イメージしよう



操作の手順は、大きな画面で
ひとつひとつのステップを
丁寧に解説!



コードと実際のWebページを
参照しながら学習できる!

いちばんやさしい
WordPressの教本

人気講師が教える
本格Webサイトの作り方
第2版 WordPress 4.x 対応
インプレス
石川栄和・大串肇・星野邦敏 (著者)
256 ページ
価格: 1,663 円 (PDF)



CMS

HTML5&CSS3
マスターブック

マイナビ出版
デジタル/CONTENTS (著)
248 ページ
価格: 2,138 円 (PDF)



HTML
/CSS

問題は設計にあり!? UX視点のデザインプロセス

4コママンガを交えて Webサイト制作を解説!

UIデザインの原則と 心理学上の根拠がわかる



&

&

デザイン Web アクセシビリティ

この書籍に書かれている内容は、良質なユーザー体験を生むためのノウハウです。普通に戦略・要件策定→情報設計→ビジュアルデザイン→実装・コーディングを行えば、達成基準を満たせることが理解できるでしょう。

ポーンデジタル
太田良典・伊原力也(著者)
296 ページ 価格: 2,700 円(PDF・EPUB)

わかばちゃんと学ぶ Webサイト制作の基本

4コママンガを交えて、ユーモアたっぷりに Web サイト製作の基本を初心者向けにわかりやすく解説しています。企画の段階から、HTMLやCSSの基本、JavaScriptやPHPの概要、Webサイトの公開・運営に触れています。

シーアンドアール研究所
淡川あい(著者)
価格: 2,138 円(PDF・EPUB)

UIデザインの心理学 わかりやすさ・使いやすさの法則

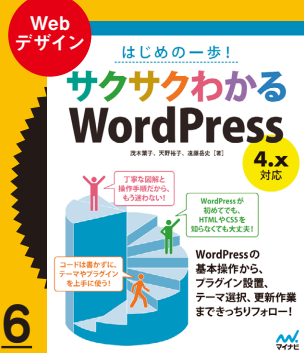
UIデザインコンサルタントによるデザイン原則の科学。「物事を認識するときどのようなバイアスがかかるか」「物事をどのように見分けてとらえるか」など、UIデザイン原則と心理学上の根拠がわかります。

インプレス
Jeff Johnson(著者)、武倉広幸・武倉るみ(翻訳)
288 ページ 価格: 3,456 円(PDF)

WordPress4 で迷わず Webサイトができあがる!

写真で顧客の心をつかむ! Instagramの宣伝ノウハウ

絶対に挫折しない コンテンツマーケティング



&

&

はじめの一步!

サクサクわかる WordPress 4.x 対応

WordPress4.x (2016年10月最新版)を使って、ホームページの作り方をていねいに教える本。これまで WordPressを使ったことがない方、HTMLやCSSの知識がない方にとっても分かりやすいよう、図解中心で解説します。

マイナビ出版 茂木真子・天野裕子・遠藤岳史(著者)
256 ページ 価格: 1,814 円(PDF)

できる 100 の新法則 Instagram マーケティング

1枚の写真で顧客の心を引き寄せる手法を現役ソーシャルメディアマーケターが解説。企業が Instagramでマーケティング、ブランディングを行い、成果を出すために必要なすべてのノウハウを収録しています。

インプレス 株式会社オプト・山田智恵・小川由衣・石井ナリ(著者)、
できるシリーズ編集部(編集) 240 ページ 価格: 1,944 円(PDF)

いちばんやさしい コンテンツマーケティングの教本

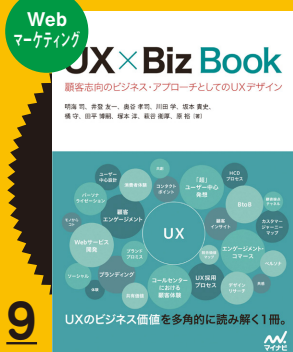
業界の第一人者が「絶対に挫折しない」をコンセプトにコンテンツマーケティングを詳しく解説。商品の売り込みに限界を感じている人、マーケティングの概念だけでなく実践に本気で取り組みたい人などにオススメです。

インプレス 宗像淳・亀山將(著者)
200 ページ 価格: 1,814 円(PDF)

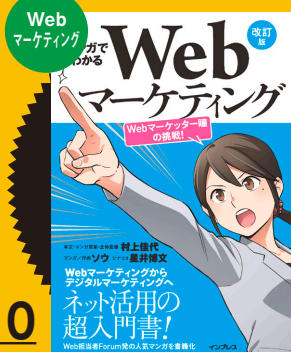
ビジネス視点から UXの価値を探る!

マンガと解説のセットで Webマーケティングを理解

種類の多いWeb広告を 上手に運用するための本



9



10



11

UX × Biz Book 顧客志向のビジネス・アプローチとしてのUXデザイン

ビジネスの場面で「顧客とのエンゲージメント」の重要性が増している中、UXアプローチは不可欠です。本書はさまざまな現場で活躍する執筆陣が、複合的な視点でUXおよびUXDのビジネス価値を分かりやすく解説します。

マイナビ出版 明海 司・井登 友一・奥谷 孝司・川田 学・坂本 貴史・橋 守・田平 博嗣・塚本 洋・萩谷 徹厚・原 裕 (著者)
240 ページ 価格：3,024 円 (PDF)

マンガでわかる Webマーケティング 改訂版 Webマーケッター瞳の挑戦!

マンガとストーリーに沿った丁寧な説明で、Webマーケティングの本質をわかりやすく解説しています。この改訂版では最新のデジタルマーケティングに対応し、現場で役立つノウハウをさらに盛り込みました。

インプレス 村上佳代 (著者)、ソウ (イラスト)、星井博文 (原作者・原案) 296 ページ 価格：1,944 円 (PDF)

基礎から学ぶ Web広告の成功法則

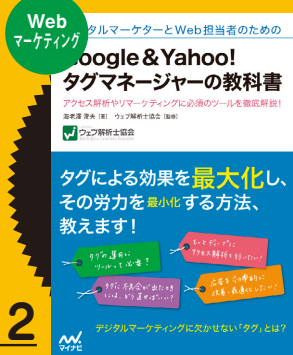
本書はWeb広告の上手な使い方を解説する本です。特にユーザーをどのようにして動かすのか、という視点を持つことで、Web広告の種類の多さや、新しい技術に惑わされず、長く使える広告運用のスキルが身に着きます。

マイナビ出版 本間和城 (著者)
232 ページ 価格：2,462 円 (PDF)

タグを効率よく管理して Webマーケの労力を最小化

すぐに役立つ実践的な グロースハックの手法!

Webマーケティングを ビジネスに取り入れよう!



12



13



14

デジタル marketer と Web 担当者のための Google&Yahoo! タグマネージャー の教科書

「Google タグマネージャー」と「Yahoo! タグマネージャー」について、設定や運用の実際、さらに効果測定や運用の Tips までを詳しく解説。本書を読んでタグによる効果を最大化し、そのための労力を最小化しましょう。

マイナビ出版 海老澤淳夫 (著者)、ウェブ解析士協会 (監修)
304 ページ 価格：2,894 円 (PDF)

いちばんやさしいグロースハックの教本 人気講師が教える 急成長マーケティング戦略

注目の成長戦略「グロースハック」の実践が学べます。業界の第一人者が自社製品を育てた経験をもとに、すぐに役立つ手法やフレームワークを解説。製品やサービスを最短で収益化して成長に導くノウハウが満載です。

インプレス 金山樹裕・梶谷健人 (著者)
176 ページ 価格：1,728 円 (EPUB)

いまさら聞けない Webマーケティング 初歩から学べる集客のセオリー

近ごろはさまざまなマーケティング手法が登場しています。本書はそうしたトレンドを押さえつつ「マーケティング戦略を基本から学びたい」「Webマーケティングを実践に活かしたい」と考えている方に向けた一冊です。

マイナビ出版 佐藤和明 (著者)
272 ページ 価格：2,138 円 (PDF)